

1 日 時 平成30年1月18日（木）11:20～11:30

2 場 所 総務省第二庁舎 7階 大会議室

3 出席者

【委員】

西村 清彦（委員長）、北村 行伸（委員長代理）、河井 啓希、川崎 茂、清原 慶子、西郷 浩、嶋崎 尚子、白波瀬 佐和子、中村 洋一、野呂 順一、宮川 努

【審議協力者】

内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、内閣府経済社会総合研究所総務部長、総務省大臣官房審議官、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、財務省大臣官房総合政策課調査統計官、文部科学省生涯学習政策局上席生涯学習官、厚生労働省政策統括官付参事官付統計企画調整室長、農林水産省大臣官房統計部統計企画管理官、経済産業省大臣官房審議官（調査統計グループ長）、国土交通省総合政策局情報政策本部長（大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官）、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務局統計部長

【事務局（総務省）】

横山大臣官房審議官

統計委員会担当室：山澤室長、肥後次長、永島次長、上田次長

政策統括官（統計基準担当）：三宅政策統括官、澤村統計審査官

4 議 事

（1）未諮問基幹統計調査の確認審議について

（2）横断的課題検討部会の審議について

（3）その他

5 議事録

○西村部会長 それでは、ただ今から第88回基本計画部会・第13回横断的課題検討部会の合同部会を開催いたします。本日は、関根委員、永瀬委員が御欠席です。

それでは、議事に入る前に、本日用意されている資料について、事務局から簡単に紹介してください。

○山澤総務省統計委員会担当室長 お手元の資料について確認させていただきます。資料1は、未諮問基幹統計調査の審議に関して、資料2は、横断的課題検討部会の審議に関する資料となっています。

資料の説明は以上です。

○西村部会長 それでは、議事に入ります。最初に、未諮問基幹統計調査についてです。事務局から説明をお願いいたします。

○上田総務省統計委員会担当室次長 それでは、基本計画部会と横断的課題検討部会、今後の議論の段取りについて、本部会で決定をしていただきたく、資料を用意させていただきました。

資料は、資料1と資料2と、参考1というものが後ろに付いてございます。まず、この参考1を御覧になっていただきたいのですけれども、この両部会で今年度、平成29年5月30日に、統計法の施行状況に関する審議の取扱いについて御決定していただいております。この中、端的に申し上げますと、下の(1)、(2)、(3)に記載してある取扱いとしてございまして、1つ目が、第Ⅱ期基本計画のフォローアップについては、第Ⅲ期の基本計画の審議の中で行うということを決めています。

それから、2つ目の未諮問基幹統計調査の取扱いにつきましては、第Ⅲ期基本計画の審議の中でできるだけ取扱って、審議がない場合には、改めて審議が必要かどうかを確認することとしています。

3番目として、横断的課題検討の1つ目ですけれども、統計精度の向上に関する取組に関してですが、総務省が行う検査の報告を11月に行っています。これを受けて、平成29年度に審議が必要かどうか、改めて判断をすることとしています。

それから、研究的課題といたしまして、第Ⅲ期基本計画の審議が多忙を極めていた状況でございますので、基本計画答申を行った後に審議内容を判断するという事となってございまして、これらの(2)と(3)に関する議題について、提案をさせていただくものです。

まず未諮問基幹統計調査の取扱いについて。こちらは資料1を御覧になっていただきたいと存じます。資料1の冒頭は、今申し上げたものと重複になりますので、2の未諮問となっていた4つの基幹統計変更の審議での取扱いの状況でございます。

記載してございますが、まず学校保健統計につきましては、国民生活・社会統計ワーキンググループで三度の審議を行って、基本計画で課題等を整理しております。それから、(2)の薬事工業生産動態統計については、10月に諮問が行われ、本日、答申が行われております。裏面にいっていただきまして、石油製品需給動態統計では、経済統計ワーキンググループで一度審議を行って、特に課題が認められないことから、基本計画の答申では取り扱われていないという整理となっております。それから船員労働統計では、国民生活・社会統計ワーキンググループで一度審議を行い、基本計画の答申に課題を記すこととなっております。

結論といたしまして、御提案ですけれども、裏面の一番下を御覧になっていただきたいのですが、4つの基幹統計につきましては、いずれも基本計画の変更の審議で取り上げられるか、または諮問されるという取扱いとなっておりますので、未諮問基幹統計として改めて確認審議を行う必要はないのではないかということをご提案させていただきます。

それから、もう1点。資料2を御覧になっていただきたいと存じます。精度検査の結果の取扱いと研究的課題の審議についての提案になります。1は、冒頭申し上げたものと重

復しますので、説明は割愛させていただきまして、2つ目です。統計法施行状況報告の統計精度検査編の審議についてです。この取扱いにつきまして、検査対象となった基幹統計調査において、多数の課題が明らかになったことを少し報告させていただいております。そのため、「統計の精度向上及び推計方法改善ワーキンググループ」が設置されておりますので、こちらを開催して、課題解決に向けた審議を行って、3月末までに審議結果報告書を取りまとめることを提案させていただきます。

それから、研究的課題の審議につきましては、基本計画の答申が終わりましたので、2月に横断的課題検討部会を開催しまして、既に専門委員で清水千弘専門委員を任命してございますが、この清水千弘専門委員から、「家賃の計測」と「建設デフレーター」について報告を受け、横断的課題検討部会の中で審議を行いたいということを提案させていただきます。

私からの説明は以上です。

○西村部会長 ありがとうございます。それでは、ただ今の御提案について、御質問等あれば、お願いいたします。

それでは、取りまとめたいと思います。平成29年度に確認審議を行う予定であった4つの基幹統計調査は、いずれも統計委員会におけるこれまでの審議等において整理がなされていることから、未諮問基幹統計として改めて確認審議を行う必要はないと判断をしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○西村部会長 どうもありがとうございました。それでは、そのようにしたいと思います。

次に、統計精度向上についてですが、本件を審議する統計の精度の向上及び推計方法改善ワーキンググループの活動期限についてです。

今後、精度向上の取組は、①統計棚卸しの取組、②統計の評価の取組、に発展的に吸収される予定であります。そのため、この「統計の精度向上及び推計方法改善ワーキンググループ」の活動期限は今年度内ということにいたします。

次に、ワーキンググループに所属する委員でございます。委員が第6期に移行した際に、このワーキンググループの構成員及び座長を指名しておりませんので、部会長である私から指名いたします。

従前は、座長を宮川委員、参加委員として北村委員と西郷委員にお願いしておりましたが、宮川委員は国民経済計算体系的整備部会が抱えている課題の審議で多忙を極めているということ、北村委員は3月まで海外出張が続くということですので、改めて同ワーキンググループの構成員を、西郷委員、河井委員、川崎委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

どうもありがとうございます。また、座長は河井委員にお願いしたいと思います。河井委員、よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

それでは、「統計の精度向上及び推計方法改善ワーキンググループ」のメンバーにおかれましては、年度末までに審議結果報告書案の取りまとめをよろしくお願いいたします。

また、研究的課題等の審議につきましては、今説明がありましたように、2月に清水千弘専門委員より、「家賃の計測」などの報告を受けて審議することにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

どうもありがとうございます。それでは、事務局においては、清水専門委員に連絡していただき、準備をお願いいたします。

本日予定されていた議事はこれで終了しましたので、本日はこのあたりまでとさせていただきます。

以上をもちまして、本日の基本計画部会・横断的課題検討部会の合同部会を終了いたします。ありがとうございました。